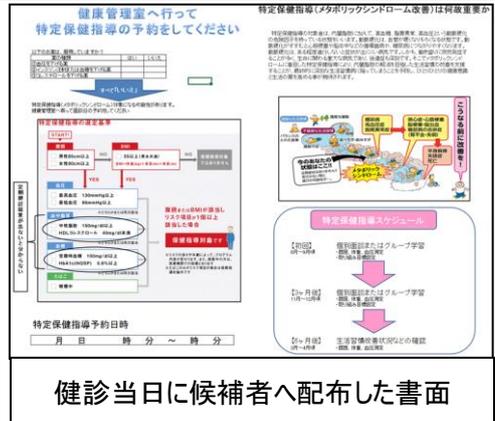


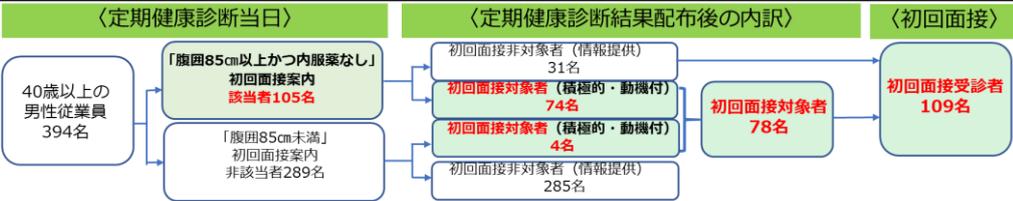
特定保健指導の予約時期と実施率向上の関係			
ガイドラインステップ	キーワード (6つ以内)	・保健指導 ・特定保健指導実施率 ・保健指導の予約時期	・定期健康診断 ・特定保健指導 ・
1～4・9			
改善・取組みの背景と課題	<p>特定健診・保健指導の実施率は、施行(平成 20 年度)から 10 年が経過し、着実に向上している。しかし、平成 28 年度の国の特定健診受診率は 51.4%、特定保健指導実施率は 18.8%と国のかかっている目標(特定健診 70%以上 保健指導 45%以上)とは依然かい離があり、更なる実施率の向上に向けた取り組みが必要である。特定保健指導は、定期健康診断(以下、定期健診とする)の結果が揃ってから対象者を選定するため定期健診から1か月から 3 か月後に特定保健指導の予約案内をするが、予約通りに受診する対象者は少なく実施率の更なる向上が課題となっている。</p> <p>当事業所の産業看護職は健康保険組合の所属で健康管理室に配属されているため保険者の立場で特定保健指導を実施している。当事業所の特定保健指導も定期健診から約 3 ヶ月後に対象者にメールで保健指導の日時を案内するが予定通り受診する者は少なく実施率向上に向けた取り組みが必要な状況であった(特保実施率約 44%)。また、定期健診から 3 ヶ月後に特保を開始した場合、受診者の体重減少が思わしくなく効果的な保健指導の実施に向けて改善が必要であった。</p>		
改善・取組みの着眼点	<p>【 i 健康意識が高い定期健診当日の活用】</p> <p>健康意識が高い定期健診当日に、特定保健指導(以下、特保という)候補者に特保の予約を取り実施率の向上に努める。</p> <p>【 ii 定期健診当日に簡便にできる特保候補者の選定方法】</p> <p>定期健診当日は、血液検査の結果が出ていないため正確な特保対象者の選定は不可能である。そこで、定期健診当日に分かる「腹囲 85 cm以上(男性)、内服薬(血圧・血糖・脂質)服用無し」を利用して特保の候補者を選定する。</p> <p>【 iii 「 i ・ ii 」が定期健診当日に実現可能かをシュミレーションする】</p> <p>前年度の定期健診結果から健診当日の特保候補者が約何名か？健診当日の腹囲と内服薬から特保候補者選定した場合、健診結果から確定した特保対象者が何人漏れるかを予測。看護職 1 名で対応可能か？健診スタッフの負担は？などを検討し実現可能かを判断する。</p>		
改善・取組みの概要	<p>【事前準備】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① シュミレーションにより実現可能と判断したら安全衛生委員会で説明をする。</li> <li>② 安全衛生委員会で定期健診当日の特保補者選定方法「40 歳以上の男性のみ。腹囲 85 cm以上・内服薬無し」と予約対応について説明し了承を得る</li> </ol> <p>【定期健診当日】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 腹囲測定担当者が 40 歳以上の男性について問診票から内服薬の有無を確認。「内服薬なし」+「腹囲 85 cm以上」の場合、予約担当の看護職へ案内する</li> <li>② 予約担当看護職は、特定保健指導の説明と予約日時を調整しこれらを記載した書面を配布。所要時間 5 分/人。</li> </ol> <p>【定期健診 1 ヶ月後(健診結果配布)特保対象者確定】</p> <p>健診当日予約者と健診結果から判明した特保対象者へメールで案内をする</p>		

写真・図表・イラスト



	初回面接 予約時期	初回面接 案内方法	初回面接対象者 選定方法
改善前	健診3ヵ月後	・メールで日時案内	健診結果による階層化
改善後	健診当日	・対面で面接し予約調整 ・初回面接 1 W前に リマインドメール	腹囲85cm以上 かつ 内服*無し *脂質・血糖・血圧治療薬

効果



	改善前 定期健診3ヶ月後予約群		改善後 定期健診当日予約群		p値*
	人数	割合	人数	割合	
最終評価(6ヵ月後)受診者	30		68**		
体重減少3%以上	2	6.67%	19	27.9%	0.02
体重減少1%以上3%未満	10	33.3%	13	19.1%	0.20
体重±1%未満	12	40.0%	21	30.9%	0.20
体重増量1%以上	6	20.0%	15	22.1%	1.00

最終評価時点で健診当日予約群において3%以上体重減少者数は有意に増加した。

このGPSの経験から学ぶことができるポイント

【考察】①健診当日予約群の特保実施率向上について: 健診当日の保健指導の予約は、受診の選択を看護職が後押しをし「先延ばし行動」を予防したためと考える。②健診当日予約群の体重減少者増加について: 健診当日は健康意識が高いと言われていいる。その時期に保健指導の予約をしたことが改善意欲に繋がって体重減少者数が増加したと考える。

【苦勞・工夫した点】①健診当日に特保候補者の選定と予約を実施したことで健診の流れに影響が出ないよう健診スタッフと詳細打合せを実施した。②女性については、配慮として健診当日の予約対応は対象外とした。

【同様な取り組みを検討している産業保健職へのアドバイス】①今まで特保の案内をしても受診をしなかった者が健診当日に予約をとると受診をしたので効果があると考え。また、健診当日に特保のスケジュールを立てるため健診後の事後措置がスムーズに実施でき看護職の健診事後措置の負担軽減に繋がった。②健診当日の特保候補者への予約対応は特保予備軍へも声かけをしている事になる。そのため、特保予備軍から特保対象への移行の予防に繋がっている可能性がある。

【自己学習するためのポイントやヒント】先行研究や好事例集から情報収集をすることで困っていることを解決するヒントが得られる

参考資料

- ・厚生労働省 健康局: 標準的な健診・保健指導 プログラム(改訂)2013年4月
- ・近藤直巳: 健康格差対策の進め方 効果をもたらす5つの視点 医学書院 2016年10月
- ・津下一代: 特定健診・特定保健指導の成果・課題から平成30年度以降の健康・医療戦略を展望する人間ドック 31:7-21. 2016
- ・日本公衆衛生協会: 特定保健指導実施率向上に役立つ事例集. 2015年3月
- ・藤田 正: メタ認知的方略と学習課題先延ばし行動の関係

投稿者

須田 みゆき

e-mail

2019年1月17日